

## 災害時の初動対応推奨フロー

目標時間	やるべきこと	対象者
発災時 速やかに	<p><b>【自身の安全確保】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体勢を低くし、転倒、破損の可能性のある設備から離れる</li> <li>・ヘルメット(なければ机、鞄、本、洋服等)で頭を守る</li> <li>・落下物、転倒物、移動物に注意する</li> <li>・揺れが収まり次第、ドアを解放し退路確保</li> </ul>	全員
揺れが 収まり次第	<p><b>【負傷者等の確認及び救護】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を掛け合い、周囲を確認</li> <li>・負傷者等がいた場合は周囲に協力要請し、通報及び応急救護</li> </ul>	全員
	<p><b>【一時避難及び従業員の安否確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社拠点内の安全エリア、指定避難場所に自主避難</li> <li>・来客者に対しても同様に避難誘導を行う</li> <li>・従業員の安否確認（点呼）</li> </ul>	全員
臭いや煙に 気づいたら	<p><b>【火元の確認・初期消火・通報】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火、通報、避難誘導を行う</li> <li>・引火する可能性がある資材や貯蔵品の安全確保措置を講じる</li> <li>・火が天井まで達している場合は直ちに避難して通報する</li> </ul>	自社自衛消防隊員 高度化組合自衛消防員
30分以内	<p><b>【建物の安全確認と危険個所の特定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井、壁、窓などの崩壊の危険性がある場所を特定する</li> <li>・設備の緊急停止の有無を判断する（二次災害防止のため） (ブレーカーを落とす、エネルギー源の遮断、緊急停止手順に沿った停止)</li> <li>・従業員の一時待機場所を確保する</li> <li>・災害対策本部立ち上げ場所を選定する</li> </ul>	緊急連絡者 各社担当者
1時間以内	<p><b>【自社の災害対策本部の立ち上げ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点内の災害対策本部を立ち上げ、情報を収集する</li> <li>・災害対策本部設置に必要な備品を準備する</li> </ul>	事業所責任者及び代理者 緊急連絡者
7時間以内	<p><b>【組合災害対策本部からの対応方針を確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同受電、生活排水、工業排水、周辺状況の復旧目途</li> </ul>	緊急連絡者
○○時間以内	<p><b>【情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害状況、生産出荷活動への影響を、本社や顧客等に対して発信する。</li> </ul>	事業所責任者及び代理者